

出会った人に「優しさ」と「さわやかさ」をプレゼントできる人の育成

～ 校訓【明朗】【自律】【友愛】と共に～

【様々な教育施策の捉え】

- 学習指導要領改訂に向けた動き
- 第四期長崎県教育振興基本計画
- 第三期諫早市教育振興基本計画
- R7年度テーマ『挑戦と創造』

【学校教育目標】

豊かな人間性を養うと共に、知性を伸ばし、
逞しい心やからだをつくる。

【保護者・地域と共にある学校】

- 目指す学校像・生徒像の共有
- 三者の尊重・信頼を基盤とした関係性の構築
- 地域社会、未来社会への展望

県教委研究指定を好機とする学校づくり

「7つのグローバルな視点」を授業のなみならず学校教育活動全体に生かす

自分の考えを持つ

- 全ての子供の学力保障：教科経営の充実
- ◆「穿つ」のある授業づくり
 - ◆過不足なき教師の説明、指示、発問
 - ◆生徒の学びに立った授業の展開
 - ◆「学力向上瓦版」「学びの習慣化メソッド」の効果的活用

互いの考えを比較する

- 比較は認合いの第一歩：特別支援教育の充実
- ◆全職員で、生徒一人一人を大切にすること。
 - ◆全生徒が、互いに一人一人を大切にしようこと。
 - ◆一番遠くにいる子供のことを大切にすること。
 - ◆事実の向こうにある真実を見ようと努めること。

広めた思考を再構築する

- 思考・実践の繰り返しによる再構築：
カリキュラム・マネジメントの充実
- ◆グローバル人材育成に果たす各教科等の役割
 - ◆「ユニット学習」による横断的学習の充実
 - ◆幼保施設、御館山小、本野小、鎮西学院高校・大学との連携→中等教育前期の意識

共に考えを創りあげる

- 共に創る：生徒会活動の活性化
- ◆大切にしたいのは「ケ」の取組。
「ケ」から「ハレ」へを重視。
 - ◆生徒の力で創り上げる学校行事。
 - ◆自治の力の育成：深慮と議論を重ねた上でのルールづくり。
 - ◆集団を喚起する「言葉の力」育成

多様な手段で説明をする

- 多様な手段：生徒の発信力強化
- ◆情報活用能力の育成。
 - ◆ICT機器を効果的に活用した話し合い活動の工夫。
 - ◆「学習報告会」等の複数回実施によりねらう発信力強化。
 - ◆「書く活動」「話す活動」の重視

多様な情報を収集する

- 多様な情報：多様な人との協働
- ◆PTA活動との適切ななかかわり
 - ◆学校評議員会、学校支援会議の見直し→学校運営協議会移行準備
 - ◆諫早市文教地区（幼児教育施設から高等教育施設まで）の利点を生かした多様なつながりの創出

協働して課題を解決する

- 協働：心を磨く教育活動の重視
- ◆「一本の傘を3年間」それが実現可能な優しい傘立てをつくる。
 - ◆「はあい」「こんにちは」がこだまする職員室であること。
 - ◆「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」がきちんとと言える子